

例年なら、「新年明けましておめでとうございます。」と年賀状に書くところですが、このお正月は、皆さんいかがだったでしょうか。今年は、「絆」と表現した人も多いのではないのでしょうか。

昨年の「東日本大震災」は、未曾有の災害として日本の歴史に残る出来事でした。しかしその中で、地震や津波の被害を受けた人々の、お互いを助け合い、思いやる姿。また、各所で見られた、「帰宅難民」となっても整然と家路に付く人々の行動。私たちの都留市においても、禾生方面の一部以外では停電となりましたが、パニックになるなどの二次的な被害もありませんでした。この東日本を中心に見せた一人一人また、各家庭での落ち着いた行動、そして助け合いが先ほどの言葉「絆」に象徴されると思います。もちろん放射能への対応など、今後考えていく課題も多々ありますが、災害時にこのような行動を集団で行えることは、外国の人々から見るととても素晴らしいことで改めて、私たち日本人の持つ特質として賞賛されました。

それでは、このようなことがどうしてできたのでしょうか。「答」はいくつもあるでしょうが、やはり日本人一人一人が、九年間の義務教育を受けていることもその一つでしょう。

う。日本にいれば当たり前であり、いじめ、不登校、学力問題など、「最近の学校は、どうなっている。」という声もあります。しかし、我が国に生まれた子ども、また、外国籍の子どもでも就学年齢であれば学ぶことのできるこのシステムは、私たち日本人が約一四〇年ほど前によく手に入れた物であり、その就学率の高さは、世界に誇る物でありました。「集団で学ぶ」その中では、一人では味わえない楽しさや喜びがあります。もちろん大勢のことですから、人間関係に悩んだり、苦しむこともあるでしょう。しかし、だからこそ、その中で培われた他の人に対する「思いやり」などの感性や「話し方」など、心やそれを言葉で表現するコミュニケーションが、人生を切り開いていく一つの大切な「力」になるのではないのでしょうか。そして、このような感性やコミュニケーション能力は、幼い頃からの親との対話、近所の人と親との会話、また保育園、幼稚園での経験がそれを育てる基礎と思います。「家庭」「地域」「保育園・幼稚園」と学校の連携が子どもの育成の大事な基盤なのです。

改めて見直された「日本人の良さ」を大切に育てて行きたいですね。



毎月第1日曜日は「家庭の日」

毎月第3日曜日は「青少年を育む日」です。

青少年育成都留市市民会議編集委員

連載・青少年健全育成シリーズ 第248回

「日本人の良さ」

広報「つる」広告募集！

あなたのお店の広告を広報つるに載せてみませんか？
広報「つる」は、都留市内の各家庭に配布されています
(10,500部発行)ので、多くの方の目に触れます！

問合先：行政管理課 秘書広報担当

広告料金

掲載場所	印刷色	金額 / 枠	備考
裏面	カラー	20,000	2カ月掲載
内面	2色刷り	10,000	2カ月掲載

掲載月は、①1・2月②3・4月③5・6月④7・8月

⑤9・10月⑥11・12月の6パターンとなります。

掲載状況につきましては、下記をご参考としてください。

また、詳細につきましては、ぜひお問い合わせください。

広 告 掲 載 欄

広 告 掲 載 欄